

第51回千葉乳幼児教育研究会

オペラシアター

こんにゃく座 うたのワークショップ

2023.11.25（土）

1回目：受付開始12:30
13:00-14:45

2回目：受付開始15:00
15:30-17:15

内容

○こんにゃく体操

からだと心のときほぐし

○オペラ「ピノッキオ」（萩京子作曲）

みんなでたくさん歌い合います

場所

千葉大学教育学部附属幼稚園

対象/定員

幼児教育に関心のある高校生・現職保育者
保育者養成校学生等 各回30名

服装/持ち物

- ・動きやすい服装
- ・バスタオル（こんにゃく体操で使用）
- ・上履き（スリッパ不可）

申込方法

URLまたは2次元コードからお申込ください
URL:<https://forms.gle/JfTFbBcdSaxRHduK9>
※定員に達し次第メ切ます



【問合せ】千葉大学教育学部幼児教育教室
事業係：kyoikuyoji-jim@chiba-u.jp

主催：千葉大学教育学部幼児教育教室/千葉大学教育学部附属幼稚園

オペラシアターこんにゃく座

オペラシアターこんにゃく座は、[新しい日本のオペラの創造と普及]を目的に掲げ、1971年に創立されました。母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにゃく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川睦子氏（元東京芸術大学名誉教授）指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。この「こんにゃく体操クラブ」出身者たちにより、自国語のオペラ作品をレパートリーとし、恒常的にオペラを上演する専門のオペラ劇団としてオペラシアターこんにゃく座は設立され、巡回公演を開始しました。

日本にオペラが紹介されてから今日に至るまで、日本では、ヨーロッパで通用するオペラ歌手の育成に力を注いできています。その結果、日本語を歌う技術がなおざりにされ、観客は聞き取れない日本語の歌を聞かされ続けています。そのなかで、こんにゃく座はよく聞き取れる、すなわち内容の伝わる歌唱表現を獲得することを、創立当初からの目的とし、その成果は各方面からの評価を得るに至っています。

こんにゃく座はまた、オペラの演劇性を重視し、こんにゃく体操で培われた身体性を駆使し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方角とはらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、数多くの上演を重ねています。

作曲家・林光（1931－2012）は1975年より音楽監督、座付作曲家を、1997年より芸術監督を務めました。現在、萩京子を代表・音楽監督とし、約40名の歌手を擁し、年間およそ250公演の上演活動を行っています。（ホームページより）

講師紹介



岡原 真弓（1988入座）

大阪芸術大学卒業

〈主な出演作品・役名〉

オペラ『口はロボットの口』ノーマ役ほか

オペラ『おぐりとてくて』大蛇役ほか

オペラ『森は生きている』9月＋おっ母さん役

オペラ『ピノッキオ』キツネ役ほか

オペラ『セロ弾きのゴーシュ』楽長役 等多数

入江 茉奈（2020入座）

エリザベト音楽大学大学院修了

〈主な出演作品・役名〉

オペラ『浮かれのひょう六機織唄』村の娘たち役

コンサート『こんにゃくざのおんがくかい』

オペラ『タングーまほうをかけられた舌』クミン役

オペラ『アイツは賢い女のキツネ』少女ビストロウシカ役ほか

オペラ『森は生きている』5月＋ウサギ役



◎湯田亜希（ピアニスト）

東京音楽大学器楽科卒業。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。ピアノを森恵子、関根優子、藤本優子、山下郁代の各氏に師事。オペラシアターこんにゃく座『口はロボットの口』『タングーまほうをかけられた舌』等の公演、また「第五福竜丸・新たな出航のコンサート」や『原爆の図』、丸木美術館でのコンサート「きょうだいを殺しに」に参加。音楽とパフォーマンスの融合をめざすアンサンブル・ポアール、篠笛とピアノによるユニットSynopiaでも活動。